

時代区分	西 暦	年 号	月 日	事 項	
中	鎌	1200	正治 2	幕府伊達郡の境相論実検のため僧源性を下す。同年帰着。 ○伊達義広（三代）栗野大館に城を築き亀岡八幡をその城下に移す。 伊達政依（四代）満勝寺を創建し慧雲を京から招く。同じころ東昌、光明、観音、光福の諸寺建立される。 ○梁川町鶴ヶ岡遺跡（布目瓦） 南部の工藤貞行、金原保内の一部を娘へ譲る（南部家北畠顕家陸奥守となる）。 伊達貞綱 船生郷の旧在家その他を陸奥国司から安堵される。 和知重秀が金原保の羽尾村の地頭代に補任される。 金原保が結城親朝に与えられる。 義良親王、顕家ら靈山に移る。 伊達行朝ら顕家に従って出陣する。 この頃の梁川城主は伊達六郎正弘。(靈山軍記)	
		1286	弘安 9		
		1323	元亨 3		
		1333	元弘 3		
		1334	建武 1		
	倉	1335	〃 2		
		1337	〃 4		
		室	1338		暦応 1
			1339		〃 2
			1345		興国 6
1347	貞和 3				
1401	応永 8				
1402	〃 9				
1426	〃 33				
1441	嘉吉 1				
1483	文明 5				
1488	長享 2				
1514	永正11				
1522	大永 2				
1532	天文 1				
世	町		1535	天文 4	
			1536	〃 5	
		1538	〃 7		
		1542	〃 11		
		1544	〃 13		
		1545	〃 14		
		1548	〃 17		